

「環境教育の取組状況と課題等に関するアンケート」（事業者用）

・ 調査件数 148件 回答件数 61件 (回答率：41.2%)

	回答件数
大企業	23
中小企業	23
小規模企業	12
無記入	3

- ・ 大企業：中小企業以外の企業・個人（中小企業より規模の大きな会社・個人）  
 （根拠法令：中小企業の事業活動の機会の確保のための大企業者の事業活動の調整に関する法律を援用）
- ・ 中小企業：  
 資本金3億円以下並びに従業員300人以下の会社・個人（製造業、建設業、運輸業）  
 資本金1億円以下並びに従業員100人以下の会社・個人（卸売業）  
 資本金5,000万円以下並びに従業員100人以下の会社・個人（サービス業）  
 資本金5,000万円以下並びに従業員50人以下の会社・個人（小売業）  
 （根拠法令：中小企業基本法）
- ・ 小規模企業：主たる従業員が20人以下（商業又はサービス業は5人以下）の商工業者  
 （根拠法令：中小企業基本法）

問1 従業員への環境教育を実施されていますか。

実施している	29
実施していない	29
無回答	3

※無記入中2件は廃業

問2 環境教育の実施開始時期はいつ頃ですか。

～1984年(昭和59年)	3
1985年(昭和60年)～94年(平成6年)	1
1995年(平成7年)～99年(平成11年)	9
2000年(平成12年)～	16
無回答	0

問3 年間の実施回数及び時間はどれくらいですか。

(1) 実施回数

～5回	16
6～10回	4
11～20回	3
21～30回	1
31～40回	0
41回～	5
無回答	0
年間を通じて実施	0

※41回～で具体的な記載は、59回、77回というのがあります。

(2) 年間延べ時間数

～10時間	14
11～20時間	5
21～40時間	4
41～50時間	1
51～100時間	0
101～150時間	0
151時間～	4
無回答	1
毎日・通年	0

問4 環境教育の実施方法はどのようにされていますか。（複数回答可）

専従の従業員による実施	21
外部講師・行政からの派遣	1
外部講師・他企業からの派遣	2
外部講師・民間団体(NPO等)からの派遣	2
外部講師・その他	4
テキスト	5
その他の実施方法	11

※外部講師・その他：他企業OB（内部監査員教育）、ISO14001認証審査  
 その他の実施方法：環境方針を各部門で教育、環境マニュアル、時間物節約委員会  
 環境委員会等を作り実施、ISO14001維持実施、社内報にて啓蒙  
 グループ会社イントラネットによる環境講座、  
 環境マネジメントシステムへの導入、  
 各部の責任者の教育、社内環境教育ビデオ・CD、

問5 実施している環境教育の分野にはどのようなものがありますか。

(複数回答可)

環境配慮行動について	23
社会的貢献的な内容	13
環境一般について	19
その他	3

※その他：電気・水道の節約、車の排出ガスの低減等々の取り組みを通じて実施、ごみの分別、ISO関連、ISO14001維持活動、工場周辺における環境影響、省エネルギー分野、異常・緊急時の訓練

問6 具体的に実施している環境教育の内容にはどのようなものがありますか。(複数回答可)

資源	20
水関係	20
大気	20
エネルギー	21
自然環境	5
生き物	2
植物	3
農・林業体験	2
地球温暖化	16
快適環境、エコライフ	11
食べ物	2
環境管理制度	11
その他	2
無回答	0

※その他：環境法規制の順守、騒音・振動

問7 環境教育の対象者は誰ですか。(複数回答)

全教職員	26
環境担当部署	3
環境担当者	5
希望者	1
その他	3

※その他：委員会、海外からの研修員、海外でのプロジェクト等、工場内協力会社従業員、転入者、派遣社員、請負社員、構内常駐会社社員

問8 他の主体とのパートナーシップの状況をお教えください。

取り組んでいる	14
取り組んでいない	13
無回答	2

・取り組んでいる (複数回答可)

行政	3
学校関係	1
研究機関	2
民間団体(NPO等)	1
民間団体(任意団体)	2
民間団体(地元住民、自治会等)	0
民間団体(他企業等)	1
その他	3

※その他：親会社、環境懇話会  
・取り組んでいない

今後は取り組む予定	1
今後も取り組む予定なし	9
無回答	3

◆従業員への環境教育を実施していない場合、問9～11にご回答ください。

問9 今後、環境教育を実施する予定はありますか。

実施の予定がある	4
実施の予定はない	24
その他	1

※その他：本社からの指示による

問10 実施方法、分野、時期、実施対象をお教えください。

- ①実施方法 回答数3件  
 ・環境ISO14001、事業所外研修会、内部・外部講習会  
 ②分野 回答数3件  
 ・省エネ 2件、省資源  
 ③時期 回答数3件  
 ・平成19～20年度、平成19年度中、未定  
 ④実施対象 回答数3件  
 ・従業員全員 2件、事務クラス

問11 環境教育を実施していない理由は何ですか。(複数回答可)

人材がない	15
実施のノウハウがない	14
必要性がない	0
資金不足	7
環境教育にあてる時間がない	9
教職員に環境教育を行う余裕がない	9
その他	1
無回答	0

※その他：本社が実施していない。

問12 社外への環境教育活動の実施はされていますか。

実施している	7
実施していない	40
無回答	14

◆社外への環境教育活動を実施している場合、問13～20にご回答ください。

問13 実施している環境活動の内容にはどのようなものがありますか。(複数回答可)

環境保全の実践	2
環境教育	2
環境に関する啓発	4
調査研究	1
その他	2
無回答	1

※その他：協力会社、環境保護基金の案内

問14 環境教育活動の実施開始時期はいつ頃ですか。(複数回答可)

～1984年(昭和59年)	1
1985年(昭和60年)～94年(平成6年)	0
1995年(平成7年)～99年(平成11年)	1
2000年(平成12年)～	4
無回答	1

問15 環境教育の実施方法はどのような形式ですか。(複数回答可)

体験教室(主催)	2
講習会(主催)	2
(依頼を受けて)出前事業	2
教材となる資料等提供	4
その他	5

※その他：社内教育、上司による個人指導、環境パンフレットの配布

問16 具体的に実施している環境教育の内容にはどのようなものがありますか。(複数回答可)

資源	7
水関係	3
大気	3
エネルギー	5
自然	3
生き物	2
植物	2
農・林業体験	0
地球温暖化	4
快適環境、エコライフ	5
食べ物	1
その他	2

※その他：事業所周辺の清掃活動、環境法規制の順守

問17 環境教育の対象者は誰ですか。(複数回答可)

保育所・園児	0
幼稚園児	0
小学生	1
中学生	2
高校生	1
大学・教育研究機関	1
他企業	0
民間団体等	1
一般住民	3
その他( )	1

※その他：自社従業員、協力会社社員、従業員の家族を対象

・一般住民の主な年齢層について(複数回答可)

～20代	3
30代	2
40代	1
50代	1
60代	0
70代～	0
全般	0

問18 1回ごとの対象とする人数はどれぐらいですか。(複数回答可)

～10人程度	3
11～20人程度	3
21～50人程度	2
51～100人程度	0
101人～(大規模のイベント的な事業)	1
無回答	1
全般	0

問19 他の主体とのパートナーシップの状況をお教えください。

取り組んでいる	5
取り組んでいない	2
無回答	0

・取り組んでいる (複数回答可)

行政	4
学校関係	2
研究機関	2
民間団体(NPO等)	2
民間団体(任意団体)	2
民間団体(地元住民、自治会等)	0
民間団体(他企業等)	0
その他	0

・取り組んでいない

今後は取り組む予定	2
今後も取り組む予定なし	0

問20 環境教育活動を行ううえでの課題をご記入ください。(自由記述)

- ・環境機関等へ啓蒙活動を行ったりというのは、人、費用の面でもなかなか実践できていない。まずは、全従業員に対して、現在の環境問題を知ってもらい、一人ひとりからでも出来ることを始めてもらうことが急務である。
- ・時間等費やささない簡単な活動の案内。
- ・マンネリ化の打破。
- ・教育メニューの充実

◆環境教育活動の実施の如何にかかわらず、問21～23にご回答ください。

問21 環境教育を実施したいフィールドにはどのようなものがありますか。(複数回答可)

田・畑	1
里山	6
ため池	1
森林	10
道路	19
河川	18
公園	11
海岸・港湾	5
都市空間	10
その他	3
特になし	0
無回答	5

※その他：産業廃棄物の管理、大気汚染の防止、エネルギー、ガス、電気

問22 市ホームページ内に環境に関するWebサイトがあるのを知っていますか。

知っている	15
知らない	37
無回答	9

活用

活用したことがない(今後は活用する)	5
活用したことがない(活用する予定なし)	10
無回答	0

問23 市登録制度で、「茨木市環境教育ボランティア」を知っていますか。

知っている	7
知らない	44
無回答	10

活用したことがある

活用したことがない(今後は活用したい)	0
活用したことがない(活用する予定なし)	4
無回答	3
無回答	0

問24 環境に関する担当者(従業員)はおられますか。

いる	22
いない	29
無回答	10

※いる：1名5件、2名4件、3名4件、4名2件、5名2件、7名1件、10名2件、14名1件、45名1件  
多くて答えられない 1件、ISO推進室 1件

「環境教育の取組状況と課題等に関するアンケート」集計（市民活動団体等）

・発送件数 6.5件 回答件数 2.9件 (44.6%)

問1 貴団体が環境教育を実施されていますか。

実施している	14
実施していない	15

問2 実施している環境活動内容（複数回答可）

環境保全の実践	8
環境教育	8
環境に関する啓発	9
調査研究	6
その他	3
無回答	1

※その他：新エネルギーの学習、分解者としての微生物の学習、ごみの削減

問3 環境教育活動の実施開始時期はいつ頃ですか。

～1984年(昭和59年)	3
1985年(昭和60年)～94年(平成6年)	1
1995年(平成7年)～99年(平成11年)	1
2000年(平成12年)～	8
無回答	1

問4 年間の実施回数及び時間数はどれぐらいですか。

～5回	6
6～10回	5
11～20回	0
21～30回	0
31～40回	0
41回～	0
無回答	2
年間を通じて実施	1

～10時間	3
11～20時間	3
21～40時間	4
41～50時間	1
51～100時間	0
101～150時間	0
151時間～	0
無回答	3
毎日・通年	0

問5 環境教育の実施方法はどのような形式ですか。（複数回答可）

体験教室(主催)	8
講習会(主催)	8
(依頼を受けて)出前事業	4
教材となる資料等提供	3
その他	3
無回答	1

※その他：生態調査結果の集計と公表等

問6 実施している環境教育の分野にはどのようなものがありますか。（複数回答可）

資源	7
水関係	6
大気	2
エネルギー	4
自然環境	9
生き物	5
植物	7
農・林業体験	4
地球温暖化	3
快適環境、エコライフ	4
食べ物	6
環境管理制度	0
その他	0
無回答	1

問7 環境教育の対象者は誰ですか。（複数回答可）

保育所・園児	3
幼稚園児	5
小学生	10
中学生	7
高校生	2
大学・教育研究機関	0
一般市民	10
企業	1
民間団体等	1
その他	0
無回答	1

問8 1回ごとの対象とする人数はどれぐらいですか。(複数回答可)

～10人程度	5
11～20人程度	2
21～50人程度	5
51～100人程度	3
101人～(大規模のイベント的な事業)(人)	3
無回答	1

(イベント名)

- ・ いばらき環境フェア
- ・ 車作キツネノカミソリ観察会
- ・ チャリティ・ライヴ
- ・ 市民森づくりキャンプ
- ・ 消費生活展

問9 他の主体とのパートナーシップの状況をお教えください。(複数回答可)

取り組んでいる	10
取り組んでいない	2
無回答	2
行政	10
学校関係	4
研究機関	2
民間団体(NPO関係)	6
民間団体(任意団体)	1
民間団体(自治会等)	3
民間団体(企業等)	1
民間団体(その他)	1
その他	1
今後は取り組む予定	2
今後も取り組む予定	0

◆環境教育活動の実施の如何にかかわらず、問10～16にご回答ください。

問10 環境教育活動を行うにあたっての問題点・課題等にはどのようなものがありますか。(複数回答可)

活動の場がない	6
効果的なPRの仕方	16
人材不足	6
財源不足	10
信用的に確立されていない	3
社会的認知度が低い	5
運営のノウハウがない	5
その他( )	0
不明	1
無回答	4

問11 環境教育活動の実施にあたり行政に期待すること(複数回答可)

活動の場の情報提供	12
フィールドの提供	5
財政的な支援	17
人材養成の支援	9
運営のノウハウの習得	8
その他	4
特になし	1
無回答	3

※その他：行政の参加、誰でも理解できるようなPRをしてもらう、市民活動センターでの情報提供の強化

問12 環境教育を実施したいフィールドにはどのようなものがありますか。  
(複数回答可)

田・畑	11
里山	9
ため池	3
森林	9
道路	3
河川	11
公園	6
海岸・港湾	2
都市空間	4
その他	2
特になし	2
無回答	4

※その他：固定の施設、学校の校庭

問13 市ホームページ内に環境に関するWebサイトを知っていますか。

知っている	11
知らない	14
無回答	4

  

活用したことがある	1
活用したことがない(今後は活用したい)	9
活用したことがない(活用する予定なし)	0
無回答	1

問14 市登録制度で、「茨木市環境教育ボランティア」を知っていますか。

知っている	14
知らない	11
無回答	4

  

活用したことがある	2
活用したことがない(今後は活用したい)	7
活用したことがない(活用する予定なし)	5

問15 団体構成員に対する環境教育指導者研修の必要性についてお伺いします。

必要である	20
不必要である	3
無回答	6

  

知識吸収型研修	9
体験型研修	8
両方	3
その他	0

問16 環境に関する担当者はおられますか。

いる	9
いない	16
無回答	4

※いる：1名2件、2名2件、3名2件、5名1件、9名1件、20名1件

◆環境教育活動を実施していない場合、問17～19にご回答ください。

問17 今後、環境教育活動を実施する予定はありますか。

いる	3
いない	7
無回答	5

問18 実施方法、分野、時期をお教えください。

①実施方法  
講演会。  
機関紙での関係記事掲載。エコツアー。

②分野  
ごみ分別化。農業。自然。

③時期  
次年(19年)以降。  
夏休みを利用して行う。

④対象  
・子ども。団体の構成員。

※無回答 7件

問19 環境教育活動を実施していない理由をお教えください。

- 人材不足である。 1件
- 対象上（高齢者）活動実施が困難である。元来、「もったいない」といった考えは身に付いている。 1件
- 団体の事業・活動の目的と合致していない。 3件
- 団体として環境教育について、深く考えたことはない。 2件
- 団体の性質上、環境教育活動は、必要ではない。必要性を感じていない。 2件
- 受講、体験という受け手のほうで活動は考えていきたい。 1件

※無回答 5件